



## 死亡事故ゼロ 県警賛辞贈る

尾花沢署管内3団体

尾花沢警察署（菊地博幸署長）管内（尾花沢市と大石田町）の「交通死亡事故ゼロ」が1年となったことを受け、県警は17日、交通安全3団体に県警本部長賛

辞を贈った。佐藤孝男県警交通部長（左）が交通安全団体の代表に賛辞を手渡した。〓尾花沢警察署

辞を贈った。

贈呈式は同署で行われ、佐藤孝男県警交通部長が、尾花沢地区交通安全協会の笹原光政会長（68）、同地区安全運転管理者協議会の星川篤会長（71）、同地区地域交通安全活動推進委員協議会の阿部殿会長（78）にそれぞれ賛辞を手渡した。

菊地署長が「長期にわたって死亡事故ゼロを達成できたのは皆さんのおかげ」、佐藤部長が「地域の大小に

かわらず、年間ゼロを成し遂げたのは大変なこと」と功績をたたえた。笹原会

長は「国道347号鍋越峠の通行が行がスタートしたが、今後どんな影響が出てくるか。引き続き交通安全活動を続けたい」と述べた。

同署管内では大石田町鷹巣の国道13号で昨年1月16日、軽トラックの男性〓当時（78）が乗用車と正面衝突して亡くなって以降、死亡事故ゼロが続いている。